

 評価のポイント

CL-I. 看護実践能力：意思決定を支える力

[26-1] 侵襲的処置で「頑張る力」を引き出す関わり 1 考え方の整理

① ご自身の部署で、しばしば実施される侵襲的処置にはどのようなものがありますか？具体的に書き出してください

点滴確保、採血、ルンパール、マルク、尿道留置カテーテル、外傷の縫合処置、熱傷処置等々が考えられる
(鎮静剤を使用しない痛みがある処置を挙げてあれば、なんでもOKです)

② その中から一つの場面を観察し、(なるべくこどもの視点に立って) どんな時、どういう気持ちになるか？こどもの主観を想像して文字にしてみてください

看護師の言動(行動・コミュニケーション)の一つ一つに対して、こどもの感じるであろう主観を想像できることを期待して作成した問いです。

たとえば、

「一緒に頑張ろうね」←想像：「優しく言ってくれて嬉しいけど。何を頑張るの？」

大勢で強く抑えつけられて←想像：「痛いし、怖い！」「説明してくれればできるかも知れないのに」

といった感じの回答を期待しています